

令和2年12月吉日

各位

一般社団法人日本金型工業会西部支部  
支部長 山中 雅仁

■新春から金型企業の新しい展開を考える！！

一般社団法人日本金型工業会西部支部  
令和3年 新春特別講演会 開催のお知らせ

拝啓 時下益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。また、日頃より西部支部事業にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。さて、毎年開催しております新年懇親会ですが、令和3年は新型コロナウイルス感染拡大に伴いWeb会議方式での講演会での開催となりました。何卒、ご理解頂きましてご参加頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

■新春特別講演会

日時 令和3年 1月28日(木) 15時30分～17時40分  
場所 Web会議方式 (Zoomを使用)  
参加費 無料

テーマ 「金型産業におけるデジタル化/DXとは」  
～金型づくり現場ではどこまで自動化が進むのか?～  
講師 日本金型工業会 学術顧問  
日本工業大学 客員教授 横田 悦二郎 様

【略歴】

千葉大学工学部機械工学科卒。黒田精工(株)取締役・ファインクロダ(株)代表取締役社長を歴任後、日本工業大学教授に就任。

現在

日本工業大学客員教授及び日本金型工業会学術顧問、相栄産業取締役等、他に金型関連企業顧問等に従事。

【講演概要】

今回のコロナ禍は日本の“デジタル化の遅れ”を様々な面で明白にした。その為、新政権は早急にデジタル庁を設置しデジタル環境を急速に整えようとしている。この“デジタル化の遅れ”は一般的な事務業務ばかりでなく“モノづくり現場”でも問題が顕在化しつつある。加えて金型産業においては生産人口の減少に伴う従事者の激減に備え作業現場の自動化・ロボット化が要求されている。これまで“熟達した技能”で“世界一の金型産業”を築き上げて来た日本の金型産業はDX化の中でどう変化しなければならないかについて解説する。

